宗教		片山　晴美他	
配当	開講	種別	単位数
1回生 2回生	2年間通年	演習・必修	2

テーマ
「あなたが大切」というメッセージを言葉ではなく相手に伝える関りを、キリスト教の教えから心にしみこませてい

講義内容
≪チャペル・アワーより≫
☆社会福祉施設で働いておられる先輩方の仕事に取り組む姿勢、想いを聞き、社会福祉の働きについて理解を深める。
☆礼拝に参加し、心静かに自分に向き合う時をもつ。
☆聖書から、イエス・キリストの歩みを学び、人と共に生きる大切さを考える時をもつ。
☆讃美歌から伝えられるメッセージを感じとりながら歌う
☆キリスト教に関する行事を知る。
（イースター・ペンテコステ・クリスマスｅｔｃ．）
☆本物のクリスマスを経験する。
≪行事≫
①新入生交流会（１回生＋２回生）
②クリスマス特別授業（１回生＋２回生）
④クリスマス特別礼拝（１回生＋２回生）
⑤卒業特別礼拝（２回生）　など

評価
①定められたチャペル・アワー、行事への全出席。
②指定したレポートの提出。

テキスト
①「聖書（新共同訳）」　日本聖書協会
②「讃美歌21」　日本基督教団出版局

その他
チャペル・アワーの出席について
・半期ごとに配布される予定表を参考に、各自指定された回数を出席する。
　上記に記載の行事に参加
　＊行事を欠席した場合は補講を行う。
・持参するもの：聖書、讃美歌、筆記用具

実務経験
キリスト教保育との出会いがあったからこそ、３４年間保育の現場で子どもと共に歩んでこられたと感じています。

科目名		担当者	
法律学		古田　洋之	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・選択	2

テーマ　私たちは子どもを守る拠り所として、多くの法をもっています。「子どもを守る」ということは、子どもの権利を守るということになります。そこで、子どもの諸権利を概観し、どのようにして子どもの権利は守られるのか、そこにはどのような課題があるのかを考察します。

講義内容

1.隣人訴訟にみる法の役割と地域福祉のあり方
2.ドメスティックバイオレンスと法
3.離婚訴訟における養育責任
4.生殖補助医療と幸福追求権
5.児童虐待に関する法制度
6.子どもの思想良心の自由
7.家族の多様化とワークライフバランス
8.働き方の変化と労働法
9. 安全配慮義務と事故の法的責任
10. プライバシー・個人情報の保護
11.子育てと環境権
12.少年法（年少者に対する法のかかわり方）
13.保育士の冤罪事件にみる人身の自由と適正手続
14.国民の司法参加
15.試験

評価

レポートの実施状況、試験により評価する

テキスト

六法

その他

実務経験

なし

科目名		担当者	
国語		石塚　正志	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・選択	2

テーマ　「国語」は他者を思う気持ちや自己覚知にも繋がり、福祉職の感性を養う上でも大切な学びだと考える。授業では、まず楽しく文章に慣れることからお便りや連絡帳、実習記録、手紙等、福祉現場においても不可欠な業務を行う基礎を磨いていきたい。

講義内容

1. 授業ガイダンス：国語の魅力について
2. 文章を作ってみよう①「３つの法則」
3. 文章を作ってみよう②「ジグザグ法」
4. 文章を作ってみよう③「４Ｗ１Ｈ法」
5. 言葉が持つ魅力を感じる
6. コラムを書いてみよう
7. 心を伝える手紙の書き方
8. 記録について：事実を書くということ
9. 記録について：「考察する」とは？
10. 「自己覚知」に繋げるプロセスレコードについて
11. 自分らしさをアピールする履歴書・自己紹介書
12. 連絡帳の書き方
13. 園だより
14. まとめ
15. 試験

評価

期末試験、出席、授業態度、作品から総合して評価する。

テキスト

使用しないが、文章のコメント返却や資料の配布等あるので、ファイルを用意すること。

その他

作品を共有するために発表を促したり、こちらから紹介したりすることもあります。

実務経験

障がい児・者福祉の現場において、施設便りの作成や利用者の作詩の支援、施設テーマ曲の作詞・作曲、また児童センターでは、１日６０名もの保護者向け連絡帳を短時間で書いていた経験あり。福祉現場向けの授業を推進

科目名		担当者	
情報処理		江草　恵	
配当	開講	種別	単位数
2回生	通年	演習・選択	2

テーマ
保育の仕事には、子どもと直接かかわること以外に、保育の計画・記録などの管理文書作成や一般的な事務処理など、保育に付随する作業が多くある。パソコンを効果的に活用し、これらの作業を効率化するために、操作スキルを習得する。

講義内容
＜前期＞
ChromeOSの基礎知識
コンピューターとインターネット
メールの基本操作
文書作成ソフトウェア
・文書の作成
・表の作成
・表現力をアップする
表計算ソフトウェア（基礎編）
・表の作成
試験

＜後期＞
表計算ソフトウェア（応用編）
・いろいろな数式
・グラフと図形
・データベースの利用
プレゼンテーション資料作成 ソフトウェア
・プレゼンテーションの作成
・図やオブジェクトの挿入と編集
・特殊効果の設定
試験

評価
平常点30%、提出物10%、中間試験及び後期試験60%

テキスト
「30時間アカデミック　Office2021」（実教出版）

その他

実務経験
ITエンジニアを経て、現在は大学や専門学校で情報処理科目の講師として従事

科目名		担当者	
英語		花岡　貴史	
配当	開講	種別	単位数
1回生	通年	演習・選択	2

テーマ
前期は英語に親しむことを目的とし、歌やゲーム、英語の絵本などを取り入れた授業を行う。
後期は外国人児童と関わる際に必要な英単語や表現を中心に学習する。

講義内容
前期
①英語の子どもの歌や有名なポップスから学ぶ
②欧米で遊ばれるゲームや遊びから学ぶ
③英語の絵本から学ぶ
④動物や日用品に関する単語を学ぶ
⑤世界地図など地理を英語で学ぶ
⑥英語でクイズ
後期
①ワークシート「外国人児童との出会い」
②ワークシート「遊びや遊具」
③ワークシート「病気やケガの場合」
④ワークシート「宗教、文化、風習の違い」
⑤ワークシート「色々な施設や建物」
⑥クリスマスの英語
⑦ワークシート「ケンカをしたとき」

前期後期とも各項ごとにプリントを配布し、２～３回に分けて行う

評価
出席、提出物、準備など

テキスト
使用しないが、各自英和・和英辞書（電子辞書可）を必携とする

その他

実務経験
英会話・英語の個別指導、英訳・翻訳業務の経験を通して実践的な使える英会話・英語文法表現を学ぶ。インターナショナルスクール出身

科目名		担当者	
心理学 （2021年度生まで）		比嘉　もも子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	講義・選択	2

テーマ

心理学では、人間の行動や心について理解することを目指します。自分自身の考え方や行動の特徴について心理学的に理解し、また対人援助職として役立つような基本的な心理学の知識を学びます。

講義内容

1．ガイダンス
2．臨床心理学①精神分析・フロイト
3．臨床心理学②カウンセリング・心理療法
4．性格心理学
5．社会心理学
6．発達心理学①新生児期・乳児期
7．発達心理学②幼児期・児童期以降
8．心理学的アセスメント
9．知覚・認知・記憶の心理学
10. 行動と学習の心理学
11. 心理学の歴史
12. 心理学の研究法
13. 心理学の事例
14. これまでのまとめと復習
15. 試験

評価

出席状況・授業態度・提出物・試験

テキスト

サトウタツヤ等編著『心理学・入門』有斐閣アルマ

その他

配付プリント用A4ファイルを用意すること

実務経験

児童心理治療施設の心理職として21年勤務し、臨床心理士として被虐待児や発達障害児の心理療法、保護者との面接、職員へのコンサルテーション、児童相談所との連携等の経験あり。現場で必要な知識を学べる授業を目指す。

科目名		担当者	
体育講義		福地　かおり	
配当	開講	種別	単位数
1回生	通年	講義・必修	1

テーマ
○ 生涯にわたって健康な生活を送るための必要な知識を習得する。
○ 子どもの身体・運動の発達、幼児期の体育・運動遊び等の基礎的な知識を習得する。

講義内容
＜前期＞
1. オリエンテーション
2. 体育、スポーツ、運動の特性
3. 運動と健康
4. 幼児期運動指針
5. コーディネーション能力
6. 生涯スポーツ ①
7. 生涯スポーツ ②
8. まとめ

＜後期＞
9. オリエンテーション・ゲーム遊び
10. 幼児期における運動の意義
11. 乳幼児期の身体・運動の発達 ①
12. 乳幼児期の身体・運動の発達 ②
13. グループ発表の準備 ①
14. グループ発表の準備 ②
15. グループ発表の準備 ③

評価
・ 平常評価　体育実技と合わせて評価をする。
（出席点：30%、提出物：45%、発表：25%）

テキスト
必要な資料は配布します。

その他
・初回の授業はHR教室で行います。
・運動ができる服装（スカートは不可）で出席して下さい。
・「体育講義実技」専用の紙ファイルを準備してください。
・その他必要な物は事前に知らせます。

実務経験
大学、大学院にて保健体育を専攻し、運動・体育・健康に関する知識の習得や幼児に関する研究等をしてきまし

科目名		担当者	
体育実技		福地　かおり	
配当	開講	種別	単位数
1回生	通年	実技・必修	1

テーマ
○ 幼児や児童に対する運動あそびを演習しながら、体を動かす楽しさを味わう。
○ 子どもたちが主体的に取り組むことができる運動遊びになるようルールや用具について考え、実践する。

講義内容
＜前期＞
1. アイスブレーキング
2. からだを使った運動あそび ①
3. からだを使った運動あそび ②
4. コーディネーション運動・ゲームあそび
5. からだを使った運動あそび ③
6. 幼児期の運動あそび ①
7. 幼児期の運動あそび ②

＜後期＞
8. リズム体操
9. 幼児期の運動あそび ③
10. 幼児期の運動あそび ④
11. 幼児期の運動あそび ⑤
12. 幼児期の運動あそびグループ発表 ①
13. 幼児期の運動あそびグループ発表 ②
14. 幼児期の運動あそびグループ発表 ③
15. まとめ

評価
・ 平常評価　体育講義と合わせて評価をする。
（出席点：30%、提出物：45%、発表：25%）

テキスト
必要な資料は配布します。

その他
・初回の授業はHR教室で行います。
・運動ができる服装（スカートは不可）で出席して下さい。
・「体育講義実技」専用の紙ファイルを準備してください。
・その他必要な物は事前に知らせます。

実務経験
大学、大学院にて保健体育を専攻し、幼児、小学生を対象にボール運動の指導等をしてきました。

科目名		担当者	
保育原理Ⅰ		中江　潤	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ

保育についての基本的な知識や考え方を総合的に学ぶ中で保育者になるための学びを深めていく。

講義内容

1．保育とは
（1）保育のはじまり、人間形成の基礎を培う営み
（2）乳幼児期の独自性を尊重する営み
（3）保育についての法と制度
2．乳幼児期の発達　　発達とは
3．乳幼児の遊び　　遊びの意義
4．保育の内容
（1）保育所保育指針と基本原則
（2）養護と教育
（3）領域とねらい及び内容
（4）幼児教育
（5）保育の内容変換
5．保育の方法とは　保育の方法
6．保育を支えた人々諸外国
（1）保育を支えた人々諸外国
（2）日本の保育を築いた人々
7．日本における現代的課題

評価

定期試験、レポート、授業態度及び保育者になろうとする姿勢

テキスト

柏原栄子他編著「新現代保育原理」　建帛社

その他

実務経験

保育園・認定こども園の副園長・園長を２８年勤め、園の運営、保育者の保育の指導、保護者の子育ての支援に携わて来た。これらを活かし、現場の視点から保育についての学びを深めていく。

科目名		担当者	
教育原理		上村　久子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ　教育の意義、目的について理解する。教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理念・思想・理論・制度について理解する。また、教育の内容・方法・計画といった教育実践に関わる基礎的理論にふれ、保育者の専門性について考える。

講義内容

1．オリエンテーション
2．教育の目的について考える
3．日本と諸外国の幼児教育・保育の制度
4．教育と子ども家庭福祉の関連性
5．諸外国の教育の思想と歴史
6．日本の幼児教育と保育の歴史
7．教育観と子ども観
8．乳幼児期の教育の特性
9．教育の実践　さまざまな教育実践
10．教育の実践　教材研究①
11．教育の実践　教材研究②
12．教育の実践　保育の計画
13．教育の実践　対象者をとらえる
14．これからの保育者に求められるもの
15．試験

評価

授業への取り組み姿勢（出欠状況等）、提出物（講義ファイルの提出）、定期試験で評価する

テキスト

必要に応じてレジュメ、資料を配布する

その他

初回の授業までに専用のA４ファイルを準備すること

実務経験

滋賀県内の公立保育園・幼稚園・認定こども園で約１２年勤務する。保育園では主に乳児クラス、幼稚園・こども園では主に幼児クラスを担当し、乳幼児の保育を行っ

科目名		担当者	
子ども家庭福祉		花岡貴史	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	講義・必修	2

テーマ

保育士はほとんどの児童福祉施設で採用される対人援助職であり、児童家庭福祉行政、法制度、サービス、対象についての基礎知識を獲得することを目的とする。

講義内容

1．授業ガイダンス：授業のルール、進め方及び、「児童家庭福祉」への導入
2．児童家庭福祉の意義
3．子どもの権利とその歴史的変遷１
4．子どもの権利とその歴史的変遷２
5．保育に必要な児童家庭福祉の考え方
6．児童家庭福祉に関する制度と実践体系の現状１
7．児童家庭福祉に関する制度と実践体系の現状２
8．児童家庭福祉と援助者１
9．児童家庭福祉と援助者２
10．少子社会と子どもの発達保障
11．子どもの健全育成と課題
12．子育てと社会的養護
13．児童家庭福祉の動向とこれから
14．諸外国の子育て事情
15．試験

評価

平常点（出席・授業態度等）、期末試験

テキスト

芝野松次郎他「子ども家庭福祉入門」ミネルヴァ書房

その他

実務経験

なし

科目名		担当者	
社会福祉		花岡貴史	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ

社会福祉の概念には多面性があるが、この授業ではいわゆる“小さな社会福祉”の歴史、各制度やサービスの現状等について学びたい。

講義内容

1．オリエンテーション・導入
“社会福祉”って何？
2．社会福祉の法・制度に基づいたソーシャルワーク
3．社会福祉の動向と子ども家庭福祉の課題
4．社会福祉専門職の倫理
5．対象理解とケースマネジメント
6．ソーシャルワークの展開過程と評価
7．ソーシャルワークの方法
8．援助関係とコミュニケーション技術
9．社会福祉六法と社会福祉制度
10．社会福祉の実施機関と福祉施設
11．利用者保護に関わる社会福祉制度
12．共生社会の実現と障害者施策
13．日本の社会福祉の歴史的変遷
14．欧米の社会福祉の歴史的変遷・まとめ
15．定期試験

評価

平常点（出席・授業態度等）、期末試験

テキスト

芝野松次郎・新川泰弘・山縣文治「社会福祉入門」ミネルヴァ書房

その他

実務経験

居宅介護支援事業所における高齢者の地域生活に関わる業務経験、社会福祉法人における評議員活動、当学院における一般家庭からの子育て相談への対応、ボランティアコーディネートなどの経験を活かして社会福祉の歴史や制度の学びを深めていく。

科目名		担当者	
子ども家庭支援論		石塚　正志	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	講義・必修	2

テーマ
「福祉」を担うあなた方ができること
～これからの福祉マンパワーに想いを寄せて～
保育士が向ける対象は誰？と問うと、ためらわず、「子ども」という解答が返ってくるだろう。しかし、その子どもには家族という近い存在があり、家庭という営みの場がある。本講義では、子どもだけ断片的に焦点をあてるのではなく、誕生から終末期に至る福祉のあり方を垣間見ながら、改めて子どもやその家庭を支援するという事に繋げて考えていきたい

講義内容
1．授業ガイダンス：現代の家族とは。家庭支援とは。
2．子どもの誕生と子育てをめぐる問題
3．「むかしの常識！いま非常識？」
4．制約のある子どもとその家族の支援について
5．働くということ。生きるということ。
6．虐待・ＤＶ・ハラスメント等の問題について
7．多様化する社会の中で家庭支援の在り方を考える
8．電話相談について
9．保育士に求められる基本的態度と関係機関との連携について
10．福祉現場におけるケースカンファレンス、スーパービジョンについて
11．少子高齢社会の中で①（事例）
12．少子高齢社会の中で②（事例）
13．生命と向きあうということ：『病の語り』より
14．授業の振り返りとまとめ

評価
授業のレポート、出席・授業態度、定期試験の総合で評価する。

テキスト
山縣文治・才村純・新川泰弘他
「子ども家庭支援・子育て支援入門」ミネルヴァ書房

その他　資料を配布することも多いので、専用のファイルを用意してください。新聞記事や支援事例なども活用します。

実務経験
障がい者福祉施設、児童福祉施設での経験の他、子育て支援員の養成、在宅介護者や障がい児を持つ親の支援等にも携わってきた。講義では、事例等も活用し学びを深めていく。

科目名		担当者	
社会的養護Ⅰ		石塚　正志	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ ：「世の光」である子どもたちを護り育む社会的養護について考える。現在、虐待、死別、貧困など様々な理由により、在宅にて家族と暮らせない子どもたちが沢山いる。このような施設で生活する子どもたちの暮らしを支援する職員や在宅での里親の働きを垣間見ながら、社会的養護の理解と必要な支援のあり方について学びを深めていきたい。

講義内容
1．授業ガイダンス
2．コミュニケーションについて
3．笑顔の効用について（演習）
4．福祉現場における相談援助
5．現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷
6．福祉現場におけるレクリエーション（生活の快）
7．「あなたならどうする？」：施設事例より考える
8．児童虐待と愛着障害について①
9．児童虐待と愛着障害について②
10．施設内虐待とストレスコーピングについて
11．緊急時の支援について
12．保育士のリスクマネジメントについて
13．福祉従事者としてできること
－地域での実践事例より－
14．社会的養護の現状と課題：授業のまとめ
15．試験

評価
授業のレポート、出席・授業態度、定期試験の総合で評価する。

テキスト
芝野松次郎・新川泰弘他「社会的養護入門」ミネルヴァ書房（＊担当者執筆箇所あり）

その他
資料なども配布しますので、科目専用のファイルを用意しておいてください。

実務経験
担当者は、親からの虐待事例等もある児童福祉施設（福祉型障がい児入所施設）にて、主任として子どもたちのケア、親の相談・支援、職員のスーパービジョン等を行ってきた。その経験を授業に活用していく。

科目名		担当者	
保育者論		中江　潤	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	講義・必修	2

テーマ

保育者になるための学習として、保育についての実践的な知識や考え方を総合的に学び、保育者となるための資質の基礎を培う

講義内容

１．保育者の役割と倫理
（１）役割・職務内容
（２）倫理
２．保育士の制度的位置付け
（１）児童福祉法における保育士の定義
（２）資格・要件
（３）欠格事由、信用失墜行為及び秘密保持義務等
３．保育士の専門性
（１）保育士の資質・能力
（２）養護及び教育の一体的展開
（３）家庭との連携と保護者に対する支援
（４）計画に基づく保育の実践と省察・評価
（５）保育の質の向上
４．保育者の連携・協働
（１）保育における職員間の連携・協働
（２）専門職間及び専門機関との連携・協働
（３）地域における関係機関等との連携・協働
５．保育者の資質向上とキャリア形成
（１）資質向上に関する組織的取組
（２）保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義

評価

定期試験、レポート、授業態度及び保育者になろうとする姿勢

テキスト

柏原栄子他編著「新現代保育原理」　建帛社

その他

「保育原理Ⅰ」「保育者論」における基礎の把握と「保育所実習」における実践学習を、自覚を持って結び付け整理する姿勢を期待する。

実務経験

保育園・認定こども園の副園長・園長を２８年勤め、園の運営、保育者の保育の指導、保護者の子育ての支援に携わって来た。これらを活かし、現場の視点から保育者のあり方についての学びを深めていく。

科目名		担当者	
保育の心理学		西山　剛司	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ

人は、人とともに、人から学ぶことを通して発達していく。とりわけ乳幼児期の子どもを発達の主体として捉え、同時に社会の一員として存在するという視点で、子どもの発達を考えて行きたい。

講義内容

1.オリエンテーション・子どもの尊厳と権利
2.現代の子育て状況と求められる支援
3.子どもの今とこれからを考える乳幼児心理学
4.発達理解の基礎
5.0歳児
6.1歳児
7.2歳児
8.3歳児
9.4歳児
10.5歳児
11.就学前後の子どもたち
12.どの子にも豊かな毎日と発達を
13.保育における環境の考え方
14.子ども理解の深まりと保育者としての成長
15.まとめ

評価

毎時間のミニレポート(50%)と定期テスト(50%)で評価する。

テキスト

新・育ち合う乳幼児心理学　保育実践とともに未来へ
心理科学研究会編　有斐閣

その他

板書をたくさん行います。専用のノートを用意してください。

実務経験

中学校・特別支援学校の教諭を退職後、大学・保育士養成校等の非常勤講師。小学校・保育所・幼稚園の巡回相談等を行っている。

科目名		担当者	
子ども家庭支援の心理学		西山　剛司	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	講義・必修	2

テーマ

生涯発達についての基礎知識を理解し、家族や家庭の意義や機能、親子関係等について発達的観点から理解するとともに、子どもと家庭を巡る現代社会の状況と問題点について理解を深める。

講義内容

1.オリエンテーション・人の発達の自由さと多様性
2.親子関係・家族関係における発達の理論実際
3.乳幼児期の子どもの発達と家庭
4.児童期の子どもの発達と家庭
5.青年期以降の発達の特徴と課題
6.家族・家庭の意義と機能
7.子育て家庭を取り巻く社会的状況と課題
8.子育て・仕事とライフコース
9.特別な配慮を要する子どもと家庭の理解と支援
10.発達支援が必要な子どもと家庭の理解と支援
11.子どもの生活環境・生育環境と生活習慣の獲得
12.子どもの心の健康問題と子ども家庭支援
13.子どもとその環境をまるごと捉えるエピソード記述
14.子ども家庭支援を巡る現代の社会的状況と課題
15.まとめ

評価

毎時間のミニレポート(50%)と定期テスト(50%)で評価する。

テキスト

子ども家庭支援の心理学入門
大倉得史・新川泰弘　ミネルヴァ書房

その他

板書をたくさん行います。専用のノートを用意してください。

実務経験

中学校・特別支援学校の教諭を退職後、大学・保育士養成校等の非常勤講師。小学校・保育所・幼稚園の巡回相談等を行っている。

科目名		担当者	
子どもの理解と援助		比嘉　もも子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	演習・必修	1

テーマ

子どもの発達や学びの把握、子どもを理解する視点と方法、子どもの理解にもとづく発達援助について学び、その理解を土台として援助を行う保育者の基本の姿勢や考え方を学びます。

講義内容

1．ガイダンス
2．子ども理解の大切さ
3．保育者の存在とかかわり
4．子どもの生活や学び
5．子どもの相互の関わりと関係づくり
6．葛藤やつまづき／保育者の影響
7．保育の環境
8．生きる力の基礎を培う
9．観察法と／記録
10．省察と評価／職員間の対話
11．保護者との情報の共有
12．発達の課題に応じた援助とかかわり
13．特別な配慮を要する子どもの理解と援助
14．これまでのまとめと復習
15．試験

評価

出席状況・授業態度・提出物・試験

テキスト

井戸ゆかり編著『子どもの理解と援助』萌文書林

その他

配付プリント用のA4ファイルを用意すること

実務経験

児童心理治療施設の心理職として21年勤務し、臨床心理士として被虐待児や発達障害児の心理療法、保護者との面接、職員へのコンサルテーション、児童相談所との連携等の経験あり。実務経験を基にした子どもの理解とその援助について実践的に学べる授業を目指す。

科目名		担当者	
子どもの保健		小野　陽子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・必修	2

テーマ
本講義は、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や発育・発達について理解する。また、子どもの心身の健康状態とその把握について理解し、疾病の予防法及び多職種との連携や協働をもとに適切な対応について理解する。

講義内容
1．生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的
2．健康の概念と健康指導
3．現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
4．地域における保健活動と子ども虐待防止
5．身体発育及び運動機能の発達と保健
6．生理機能の発達と保健
7．健康状態の観察・心身の不調等の発見
8．発育・発達の把握と健康診断・保護者との情報共有
9．子どもの衛生管理
10. 主な疾病の特徴
11. 主な疾病の特徴
12. 主な疾病の特徴
13. 子どもの疾病の予防と適切な対応
14. 子どもの疾病の予防と適切な対応
15. 認定試験

評価
認定試験（持ち込み無し）

テキスト
小林美由紀編著：子どもの保健　演習ノート、診断と治療社、2019.
必要時資料配布

その他
テキストにそって学修を進めていく

実務経験
保育所勤務の経験なし
小児看護学実習・幼稚園実習指導経験から、保育士に必要な知識・技術を伝授したい。

科目名		担当者	
子どもの食と栄養		藤野　美穂子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	通年	演習・必修	2

テーマ　乳幼児期の子どもの食事は、体の成長だけでなく心の発達に大きな役割を担っている。現代においては、子どもの食環境は複雑化しており、保育の中での食育の重要性は、ますます高まっている。
この授業では、栄養学・食品学の基礎を学んだ上で、子どもの食と栄養の専門的内容を学習し、更に調理実習による実践を通して理解を深めていく。

講義内容
＜前期＞
1. ライフステージの栄養と小児期の特徴
2. 三大栄養素の機能
3. ビタミン・ミネラル・水について
4. 三大栄養素の消化・吸収
5. 食品の基礎知識　①主食
6. 食品の基礎知識　②主菜
7. 食品の基礎知識　③副菜
8. 食品の基礎知識　④加工食品の表示
9. 乳児期の栄養Ⅰ（乳汁栄養）
10.11.＜調理実習＞　様々なミルクの調乳と試飲
12.前期の復習
13.中間試験
＜後期＞
14. 乳児期の栄養Ⅱ（離乳食）
15.16.＜調理実習＞　離乳食作り
17.. 幼児期の栄養
18.19.＜調理実習＞　幼児のためのお弁当
20.21.＜調理実習＞　幼児のための手作りおやつ
22.　乳幼児期の.食物アレルギー
23.24.＜調理実習＞食物アレルギー対応食
25.. 小児メタボリックシンドローム
26.27.＜調理実習＞肥満の子どものための食事
28. 食育（3色食品群など）
29.後期の復習
30.単位認定試験

評価　試験、提出物、授業態度による総合評価

テキスト　なし　毎回プリント配布

その他　提出物：講義や実習で配布する書き込み式プリント及び課題レポート

実務経験
国立及び府立の大学病院にて、管理栄養士として小児糖尿病サマーキャンプ、妊産婦教室、小児肥満外来での栄養指導及び特殊ミルクの調乳を担当。また、市内の幼稚園にて給食の調理、配膳の補助経験あり。これらの経験を授業に活かし、保育の現場で役立つ食の知識と調理技術を備えた人材の育成に努めたい。

科目名		担当者	
保育の計画と評価		片山　晴美	
配当	開講	種別	単位数
2回生		講義・必修	2

テーマ 「保育」という営みは、子どもの育つ力に主眼を置き、子どもの主体性を大切にしながら、大人が子どもの育ちを支えていく事です。幼児期の教育は『生涯にわたる人格形成の基盤を培う重要なもの』と位置づけられています。子どもの育ちが過去を経験しての現在、現在を発展させた未来へと連続的に展開されるからこそ、保育計画を立て、実践し、振り返る事が、子どもひとり一人の育ちに丁寧に向き合うことになることを学びを通して理解していく。

講義内容

1．保育の計画
2．全体的な計画と保育の実践
3．子どもを観察し理解する事について
4．指導案の書き方　その１
5．指導案の書き方　その２
6．グループ毎にあそびを考え、指導案をたてる
7．グループ毎にあそびを考え、指導案をたてる
8．グループ毎にあそびを考え、指導案をたてる
9．模擬保育
10. 模擬保育
11. 模擬保育
12. 模擬保育の振り返り（PDCA）
13. ３歳児の指導案の作成
14. ４歳児の指導案の作成
15. ５歳児の指導案の作成

評価　出席日数、授業に取り組む姿勢　レポート提出の総合で評価

テキスト　岩﨑淳子・及川留美・粕谷亘正　著「教育課程 保育の計画と評価」萌文書林

その他
A４ファイルを用意する。

実務経験　保育園・認定こども園で３４年の保育経験がある。保育者は、子ども達の姿から子どもの『言葉にならない言葉』を感じ取り、子どもに関わるからこそ、心の育ち（生涯にわたる人格形成の基盤を培う）に丁寧にはたらきかける関りを行う事が出来るのです。
その『言葉にならない言葉』を感じ取る為にも、保育を振り返る『PDCA』はとても重要であり、ここが出来てこそ「保育の専門職」としての役割をはたす事が出来ると

科目名		担当者	
保育内容総論		上村　久子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・必修	1

テーマ
保育所保育指針の保育の基本と構造を理解し、保育所における保育内容やその展開について、実践例を通して学ぶ。また、子ども理解を深め、保育士として適切な援助の在り方について学ぶ。

講義内容

1. オリエンテーション
2. 保育所における保育
3.保育内容とは
4. 保育所保育指針が目指す保育内容①
5. 保育所保育指針が目指す保育内容②
6.子どもの発達や生活に即した保育内容①
7. 子どもの発達や生活に即した保育内容②
8. 保育内容の展開①家庭や地域との連携
9. 保育内容の展開②主体性を尊重した保育
10. 保育内容の展開③環境を通して行う保育
11. 保育内容の展開④遊びや生活を通した学び
12. 保育内容の展開⑤個と集団の育ちを支える保育
13. 保育内容の展開⑥小学校との連携
14. まとめ・振り返り
15. 試験

評価
授業への取り組み姿勢（出席状況等）、提出物（お便り作成）、定期試験で評価する

テキスト
文部科学省「保育所保育指針解説　平成３０年３月」フレーベル館　その他、必要に応じてレジュメ、資料を配布する

その他
専用のA4ファイルを準備すること

実務経験
滋賀県内の公立保育園・幼稚園・認定こども園で約12年勤務する。保育園では主に乳児クラス、幼稚園・こども園では主に幼児クラスを担当し、乳幼児の保育を行った。自身の保育実践を生かし、多くの事例を取り上げていきながら、実践に役立つような授業を展開していきたい。

科目名		担当者	
保育内容「健康」Ⅰ		庄　政治	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	演習・必修	1

テーマ

自分の心身が満たされた生活（心身の健康）を送りながら、保育者としてどのように子どもの健康を捉え、援助していくことが必要か、身に付けていけるかを考えながら実践を交えて学ぶ。

講義内容

1．オリエンテーション　「健康Ⅰ」について
2．健康とは
3．自然に触れよう
4．領域「健康」の考え方
5．保育教材 製作（フェルトネーム）
6．保育教材 製作（フェルトネーム）
7．子どもの身体の発育について
8．子どもの心と身体の健康について
9．子どもの運動能力と動きについて
10. 基本的就活習慣について
11. 食育について
12. 安全指導と安全への配慮 について
13. 保育の行事について
14. 養護と教育について
15. 試験

評価

レポート・提出物
授業への取り組み・出席・試験・総合で評価する

テキスト

「保育所保育指針」・「保育所保育指針解説書」

その他

・フェルト・ひも・安全ピン・裁縫道具を
各自 用意する。（詳しいことは授業内で伝えます）
・手遊び、集団遊び、うた遊びなども授業に組み込む

実務経験

保育士として23年の実務経験を活かして、保育内容五領域「健康」についての基礎を学び、各年齢の発達をおさえながら、子どもたちの生活の基盤になる心身の健康についての授業を行う。
また、子育て支援の視点も考慮し、多くの具体的な実践例を通して学ぶ授業。

科目名		担当者	
保育内容「人間関係」		上村　久子	
配当	開講	種別	単位数
２回生	前期	演習・必修	1

テーマ

領域「人間関係」について、ねらいや内容に基づいた方法論や実践論を学ぶ。園生活において人間関係がどのように広がり深まっていくのか、子どもや保育者等、人との関わりについて理解する。また、人との関わりを育む援助について学ぶ。

講義内容

1.オリエンテーション
2.保育の基本と領域「人間関係」
3.子どもの発達と人との関わり①
4.子どもの発達と人との関わり②
5.領域「人間関係」のねらいと内容
6.領域「人間関係」に関わる教材の理解①
7.領域「人間関係」に関わる教材の理解②
8.人間関係を育む保育者の関わり①～自己主張と自己発揮
9.人間関係を育む保育者の関わり②～子ども同士のいざこざ
10.人間関係を育む保育者の関わり③個と集団の関わり
11.子どもの人間関係を育む活動を考える
12.模擬保育①
13.模擬保育②
14.領域「人間関係」のまとめ
15.試験

評価

授業への取り組み姿勢（出欠状況等）、提出物、定期試験で評価する

テキスト

文部科学省「保育所保育指針解説　平成３０年３月」フレーベル館
その他、必要に応じてレジュメ、資料を配布する

その他

専用のA４ファイルを準備すること

実務経験

滋賀県内の公立保育園・幼稚園・認定こども園で約１２年勤務する。保育園では主に乳児クラス、幼稚園・こども園では幼児クラスを担当し、乳幼児の保育を行った。自身の保育実践を生かし、多くの事例を取り上げていきながら、実践に役立つような授業を展開していきたい。

科目名		担当者	
保育内容「環境」		上村　久子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ

領域「環境」について、ねらいや内容に基づいた方法論や実践論を学ぶ。保育における「環境」についての基本を押さえ、子どもと環境とのかかわりや園生活における環境構成、保育者の援助等について理解を深める。また、乳幼児の発達に沿った具体的指導場面を想定した保育の構想や援助について考える。

講義内容

1.オリエンテーション
2.保育の基本と領域「環境」
3.領域「環境」のねらいと内容
4.保育における「環境」とのかかわり①
5.領域「環境」に関わる教材の理解①
6.社会とのかかわりにおける子どもの育ちと保育者の援助
7.領域「環境」に関わる教材の理解②
8.ものとのかかわりにおける子どもの育ちと保育者の援助
9.領域「環境」に関わる教材の理解③
10.自然とのかかわりにおける子どもの育ちと保育者の援助
11.保育における「環境」とのかかわり②
12.模擬保育①
13.模擬保育②
14.環境を通した保育を考える

評価

授業への取り組み姿勢（出欠状況等）、提出物、定期試験で評価する

テキスト

文部科学省「保育所保育指針解説　平成３０年３月」フレーベル館
その他、必要に応じてレジュメ、資料を配布する

その他

専用のA４ファイルを準備すること

実務経験

滋賀県内の公立保育園・幼稚園・認定こども園で約１２年勤務する。保育園では主に乳児クラス、幼稚園・こども園では幼児クラスを担当し、乳幼児の保育を行った。自身の保育実践を生かし、多くの事例を取り上げていきながら、実践に役立つような授業を展開していきたい。

科目名		担当者	
保育内容「言葉」Ⅰ		髙橋　司	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ

乳幼児期のことばの教育
1. 保育所保育指針に示された保育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解すること。
2. 幼児の言葉の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定して、保育を構想する方法を身に付けること。
3. 幼児を取り巻く環境の現代的な課題を理解し、それに対応した保育が構想できるようになること。

講義内容

1. 領域「言葉」のねらいと内容
2. 聞くこと・話すことを育む指導
3. 読むこと・書くことを育む指導
4. 乳児期のことばの発達
5. 幼児期のことばの発達
6, 幼・小接続と領域「言葉」
7. ことばを育むあそび　～ごっこ～
8. ことばを育むあそび　～ことばあそび～
9. ことばを育むあそび　～劇あそび～
10. ことばを育むあそび　～手あそび・指あそび・伝承あそび～
11. ことばを育む児童文化財の活用　～口演童話～
12. ことばを育む児童文化財の活用　～絵本～
13. ことばを育む児童文化財と映像教材の活用　～ペープサート・エプロンシアター～
14. ことばを育む児童文化財の活用　～パネルシアター～
15. 領域「言葉」Q&A　　定期試験

評価

試験（70％）
小レポート（30％）

テキスト

『新装改訂版　乳幼児のことばの世界　聞くこと・話すことを育む知恵』（髙橋司著、宮帯出版社）

その他

真摯な受講態度で臨んでください。

実務経験

幼稚園主事・副園長・顧問を11年間務める。
京都・滋賀の幼稚園、保育園、こども園８ヶ園の理事・評議員・監事・アドバイザー。

科目名		担当者	
保育内容「表現」		庄　政治 / 山岡　紀美子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	演習・必修	1

テーマ【造形表現】
- 自己表現をするためのアイテム作りとして、自分の発想を大事にしながら、工夫を凝らして製作を行う。
- 壁面製作の観点からも視覚的に季節や月がわかるような製作を協力しながら行う。
- 色々な技法を知り、実習や就職先で役立てたり、幼児に提供したりする方法を学ぶ。

【音楽表現・身体表現】
- 身近な事象との出会いから子供の強い興味関心に支えられた表現活動を構想できる。
- 他者と協働することにより、他社の表現を受け止め共感し、豊かな表現につないでいくことができる。

講義内容

1．オリエンテーション
　領域「表現」のねらい及び内容の理解
　自己紹介スケッチブック製作説明
2．自己紹介スケッチブック製作
3．自己紹介スケッチブック製作
4．自己紹介スケッチブックを使って実践発表
　お誕生表作成について
5．お誕生表　製作
6．お誕生表　製作
7．お誕生表　製作
8．切紙・型紙製作の技法
9．子どもの音声発達
10. 保育者に求められる声の技術と表現法
11. 子供の感覚特性を踏まえた環境構成の構想
12. グループ発表と振り返り
13. 学習材としての伝統行事・祭り・わらべうた
14. 子どもの身体表現発達
15. 発表と保育実践の動向・全体の振り返り

評価

造形表現：スケッチブックの提出と演出力（50%）
授業への取り組み　平常点（50%）を総合的に評価する。
音楽表現・身体表現：提出物、平常点、発表にて総合的に評価する。

テキスト

造形表現：使用しない
音楽表現・身体表現：子どものための音楽表現技術（萌文書林）

その他　造形表現：次回授業で使用する教材を伝えるので、それらを持参する。

実務経験

保育士として23年の実務経験を活かして、教材の使い方や、展開方法を伝え、実習先や現場において活用できる教材を、実践に繋がる基礎になるよう具体的に提供し、自らが楽しみながら丁寧且つ、自分の感性も大切に育む授業を行う。また、人とのより良い関係が築けるためのコミュニケーション力を養う場とする。（庄 政治）

14年間幼稚園・保育園・研修会にて子どもや保育者に向けての音楽指導を行っている（山岡　紀美子）

科目名		担当者	
乳児保育①		片山　晴美	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ

安心できる大人との関りを通して、子どもが自らの育つ力を最大限につかい成長していくその営みを見守り、関わる存在としての保育士の働きを理解する

講義内容

1．オリエンテーション
2．0歳児とは
3．0歳児の基本的生活習慣
4．0歳児のあそびとことば～保育者の関わり～
5．1歳児とは・・・
6．1歳児の基本的生活習慣～「ジブンデ」を受け入れて関わる～
7．１歳児のあそび
　～あそびを通してひろがる子どもの世界～
8．２歳児とは・・・
9．２歳児のあそびと人との関り
10. ２歳児のことばの育ち
11. 乳児院における乳児保育
12. 乳児の指導計画　その１
13. 乳児保育の指導案　その２
14. 振り返り
15. 試験

評価

出席日数、授業に取り組む姿勢　レポート提出　試験の総合で評価

テキスト

参考図書「乳児の発達と生活・あそび」長瀬美子
ちいさいなかま社

その他

A4ファイルを用意する

実務経験

保育園・認定こども園で３４年の保育経験がある。
乳児は月齢によって生活リズムも発達も興味や関心も異なります。一人ひとりの育ちに丁寧に関わる保育とは・・・といつも念頭において保育してきたその実践内容と共に、子どもの育つ力の素晴らしさを伝えていきます。

科目名		担当者	
乳児保育②		片山　晴美	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・必修	1

テーマ

ひとりひとりの育ちを大切にする保育者の関りと、子どもの理解について学びを深め、各年齢に合わせた指導計画をたてる。

講義内容

1.赤ちゃんの関りについて
（抱き方・おんぶの仕方・授乳）
2.赤ちゃんの関りについて
（オムツ交換の仕方、服の着替え）
3.子どもの手の動きとおもちゃ
4.子どもの手の発達と手作りシールづくり　その１
5.子どもの手の発達と手作りシールづくり　その２
6.乳児のあそび体験
7.乳児期の絵本について
8.乳児期の絵本について
9.乳児期のふれあいあそび、手あそびについて
10.乳児期のふれあいあそび、手あそびについて
11.乳児保育の指導案の書き方のポイント
12. 0 歳児の指導計画の作成
13. 1 歳児の指導計画の作成
14. 2 歳児の指導計画の作成
15.振り返り

評価

出席日数、授業に取り組む姿勢　レポート提出の総合で評価

テキスト

授業で配布する資料

その他

A4ファイルを用意する

実務経験

保育園・認定こども園で３４年の保育経験がある。
子どもの姿から様々なあそびを考え、実践してきた経験を基に、乳児期の子どもの生活につながるあそびについて、子どもの成長、発達の姿から関わりを考えていきます。

科目名		担当者	
子どもの健康と安全		小野　陽子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	演習・必修	1

テーマ

保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解することを基本とし、様々なデータにより科学的根拠を踏まえながら保育における衛生管理・危機管理・災害対策や子どもの体調不良時の対応の仕方・子どもの発達を踏まえた保健活動計画等の学修を進めていく。

講義内容

1. 子どもの健康と保育環境
2. 子どもの生活習慣と心身の健康
3. 事故防止及び安全対策：危険予測
4. 子どもの衛生管理と指導
5. 危機管理と災害の備え
6. 子どもの体調不良等に対する適切な対応
7. 感染症予防対策
8. ポスター作り（個人提出）
9. 保育における保健的対応：母子保健と地域保健
10. 個別的配慮を要する子どもへの保健対応と連携
11. 障害をもつ子どもへの保健対応
12. 遊びと自然体験
13. 保護者へ保健のおたより：作成
14. 保護者へ保健のおたより：作成（個人提出）
15. 認定試験

評価

認定試験（持ち込み無し）

テキスト

小林美由紀編著：子どもの健康と安全　演習ノート、診断と治療社、2019.
演習「幼児安全法」組み込まれる予定　事前学習・事後学習あり

その他

テキストにそって学修を進めていく

実務経験

保育所勤務経験なし
小児看護学実習・幼稚園実習指導経験から、保育士に必要な知識・技術を伝達したい。

科目名		担当者	
障がい児保育①		新葉　祥代	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ
「障がい」って？何も知らない、考えたこともない、そんな方とご一緒に「障がい」ということばでは語れない制約を持つ人の人生を共有し、２回生からの「統合保育」の礎を築きたいと考えています。

講義内容
1　「障がい児保育」について
2　障がいがあるという事
3　ビデオ①　四肢欠損の青年男性と女性の生き方　4 ビデオ①のディスカッション
5　ビデオ②　発達障害
6　ビデオ③　自閉症のピアニスト
7　ビデオ②③のディスカッション
8　ビデオ④　自閉症の君が僕の息子に教えてくれた事
9　ビデオ⑤　自閉症の妹「ちづる」
10　ビデオ④⑤のディスカッション
11　ビデオ⑥　姉妹で筋ジストロフィー
12　ビデオ⑥のディスカッション
13　ビデオ⑦　ダウン症・出生前診断
14　ビデオ⑦のディスカッション
15　試験

評価
出席、授業態度、宿題、班課題レポート、発表、期末試験によって評価する。

テキスト
独自作成のものを使用

その他
ビデオ内容やディスカッション内容が試験に出ます。資料も多数配布しますので、欠席すると試験が困難になりますので、頑張って出席して下さい

実務経験
児童発達支援センターにて20年以上制約をもつ子どもの療育、保護者支援を行っている。また、地域の保育園、小学校、児童館等に出向き、発達の気掛りな子どもへの理解や支援について相談業務を行っている。これらの経験を活かして障がいについての知識だけでなく、現場の保育者としての制約のある子どもに対する理解・支援のあり方などの学びを深めていきたい。

科目名		担当者	
障がい児保育②		新葉　祥代	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・必修	1

テーマ
心身の発達に制約をもつ子どもへの理解を深めるため、自分たちで調べ、仲間に伝え、共有することで学びを深める授業です。この学びが現場で活かせるように現場の話しを織り交ぜて行き、実践的な学びとします。

講義内容
1　１回生の学びの振り返り・オリエンテーション
2　何故障がい児は生まれるのか？
　障がい受容・親の気持ち
3　ノーマライゼーションとＩＣＦ
4　統合保育と分離保育
　統合保育の色々
5　知的障害
6　聴覚障害・視覚障害
7　てんかん
8　医療的ケア児
9　脳性麻痺
10　ダウン症
11　発達性協調運動障害
12　愛着障害
13　発達障害（自閉症スペクトラム）
14　発達障害（ＡＤＨＤ／ＬＤ）
15　試験

評価
出席、授業態度、宿題、班課題レポート、発表、期末試験によって評価する。

テキスト
独自作成のものを使用

その他
他者の発表に耳を傾け、学び、自らも他者が理解できるようまとめる力、発表する力をつけます。
将来に向けて真摯に授業に臨んで下さい。

実務経験
児童発達支援センターにて20年以上制約をもつ子どもの療育、保護者支援を行っている。また、地域の保育園、小学校、児童館等に出向き、発達の気掛りな子どもへの理解や支援について相談業務を行っている。これらの経験を活かして障がいについての知識だけでなく、現場の保育者としての制約のある子どもに対する理解・支援のあり方などの学びを深めていきたい。

科目名		担当者	
社会的養護Ⅱ		石塚　正志	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ
本授業は、社会的養護を行っている施設現場の職員から実際に聴講することにより、日常生活の支援、自立支援等の施設保育士の在り方を学ぶ。また、児童福祉施設の現状や課題を知り、子どもを社会的に養護する保育者としての支援の学びを深める。

講義内容
1．授業ガイダンス
2．保育士資格を活かせる福祉現場について
3．次回の予備学習と質問他
4．母子生活支援施設
5．前回の振り返りと感想レポート・次回の予備学習と質問
6．児童養護施設
7．前回の振り返りと感想レポート・次回の予備学習と質問
8．乳児院
9．前回の振り返りと感想レポート・次回の予備学習と質問
10．乳児院・里親支援
11．前回の振り返りと感想レポート・次回の予備学習と質問
12．児童心理治療施設
13．前回の振り返りと感想レポート
14．授業のまとめ
15．試験

評価
授業のレポート、出席・授業態度、定期試験の総合で評価する。

テキスト
なし。毎回、資料の配布あり。

その他
資料なども配布するので、科目専用のファイルを用意しておくこと。講師は変更することもあります。

実務経験
担当者は、障がい者福祉や児童福祉（福祉型障がい児入所施設や児童センター）職員として計１５年勤務。被虐待児のケア等も行ってきた。また地域では、障がい児とその親の会の活動や青少年健全育成活動、ボランティア育成、児童養護施設職員向けの人権研修等も行ってきた。

科目名		担当者	
子育て支援		片山　晴美	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ
保育の現場から子育て支援のさまざまな内容を知り、保育者の役割について学びを深める。

講義内容
1．子育て支援について
2．子どもを育てるという営みの本業
3．保育園の子育て支援
4．送迎時の子育て支援について
5．園見学のオリエンテーション
6．保育所で行われる子育て支援園見学
7．園見学
8．園見学
9．保育園で実践されている子育て支援事業
10．連絡ノート・園だより・クラスだよりからの子育て支援について
11．言葉を色々かんがえよう
12．個人面談・クラス懇談会の子育て支援について
13．さまざまな保護者対応について
14．授業の振り返り
15．試験

評価
出席日数、授業に取り組む姿勢　レポート提出　試験の総合で評価

テキスト
授業で配布する資料

その他
Ａ４ファイルを用意する。

実務経験
保育園・認定こども園で３４年の保育経験の中で子育て支援事業に携わってきた経験をつたえる。
保育現場に見学に行き、園の中で行われている様々な子育て支援について学びます。

科目名		担当者	
美術・工芸		庄　政治	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ
・子どもの身体的発達・発達過程の特徴について理解し、発達に応じた援助の必要性を学び、感性を養う。
・絵画や製作を通して、乳幼児が豊か感性を育むための環境構成の理解を深め、色々な道具や教材を使って様々な技法を学ぶ。
また、自己の感性を発揮し、工夫したり、アイデアを発展させたりしながら製作をする。

講義内容
1. 授業オリエンテーション
2. **～技法あそび～**
3. フィンガーペインティング、スタンピング、
4. ドリッピング、バチック、デカルコマニー、
5. 糸ひき絵、スパッタリング、ステンシル、
6. フロッタージュ、スクラッチ、にじみ絵、
7. マーブリング・・・他
8.
9. クリスマス製作
10. クリスマス製作
11. クリスマス製作
12. 素材あそび
13. 素材あそび
14. 素材あそび
15. 製作 総仕上げ　　スケッチブック提出

評価
作品の「出来」（50%）
授業への取り組み　平常点（50%）を総合的に評価する。

テキスト
使用しない

その他
次回授業で使用する教材・画材を伝えるので、それらを持参する。
水彩絵の具・絵筆・パレット・水入れ、はさみ、のりを事前に購入しておくことが望ましい。

実務経験
保育士として23年の実務経験を活かして、教材・画材の使い方や方法を伝え、現場において活用できる教材・画材を実践に繋がる基礎になるよう具体的に提供し、自らが楽しみながら丁寧且つ、自分の感性や個性が発揮できるような授業を行う。また、個人での作品作り、周りと協力する準備から後片付けまでの過程をも大切にする。

科目名		担当者	
体育		福地　かおり	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	演習・必修	1

テーマ
○ 保育や福祉に関する運動あそびやレクリエーションゲームを通して、生涯にわたり運動に親しむ態度を養い、それらを自身の健康の保持・増進に活かす。
○ 保育者としての指導方法と運動あそびをする際に配慮すべきことを学ぶ。

講義内容
1. オリエンテーション
2. リズム体操
3. なわを使った運動あそび ①
4. マットを使った運動あそび ①
5. マットを使った運動あそび ②
6. ボールを使った運動あそび ①
7. ボールを使った運動あそび ②
8. なわを使った運動あそび ②
9. 運動あそびグループ発表 ①（企画・立案）
10. 運動あそびグループ発表 ②（企画・立案）
11. 運動あそびグループ発表 ③（グループ発表）
12. 運動あそびグループ発表 ④（グループ発表）
13. 運動あそびグループ発表 ⑤（グループ発表）
14. レクリエーション
15. まとめ　小テスト

評価
平常点・提出物：５０％
グループ発表・小テスト：５０％

テキスト
必要な資料は授業の際に配布します。

その他
・初回の授業はHR教室で行います。
・運動ができる服装（スカートは不可）で出席して下さい。
・「体育」専用の紙ファイルを準備してください。
・その他必要な物は事前に知らせます。

実務経験
大学、大学院にて保健体育を専攻し、体育に関する知識の習得、幼児、小学生を対象にボール運動の指導等をしてきました。

科目名		担当者	
音楽Ⅰ		山岡　紀美子他	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	演習・必修	1

テーマ
〇音楽の基礎知識の習得をとおし、楽譜を正確に読み取ることができる。
〇保育実践で扱うピアノ曲や子どもの歌を表現力豊かに演奏できる。
〇正確な発声、発音、音程、リズムとともに表現力豊かに歌唱できる。

講義内容
1. オリエンテーション
2. 読譜（高音部譜表）呼吸法・発声法、ピアノ実技
3. 読譜（低音部譜表）園生活の歌（朝）、ピアノ実技
4. 読譜（音符と休符）園生活の歌（食事）、ピアノ実技
5. 読譜（幹音と派生音）園生活の歌（帰り）、ピアノ実技
6. 読譜（小節線と演奏順序）季節の歌（春）、ピアノ実技
7. リズム学習（2拍子）、季節の歌（春）、ピアノ実技
8. リズム学習（3拍子）、季節の歌（春）、ピアノ実技
9. リズム学習（4拍子）、季節の歌（夏）、ピアノ実技
10. リズム学習（8分の6拍子）季節の歌（夏）、ピアノ実技
11. 複リズム、季節の歌（夏）、ピアノ実技
12. ハ長調、子どもの歌（オノマトペのうた）、ピアノ実技
13. ヘ長調、子どもの歌（数のうた）、ピアノ実技
14. 声楽試験、筆記試験、ピアノ実技
15. ピアノ試験

評価
ピアノ：60％　声楽：20％　理論：20％

テキスト
歌唱教材伴奏法（教育芸術社）
ポケットいっぱいのうた（教育芸術社）
子どものための音楽表現技術（萌文書林）

その他　●携帯電話持ち込み不可●授業中は指示されら時以外ﾚｯｽﾝ室から退出しないこと●爪を短く切ること（ネイル厳禁）、指輪、ブレスレットなどのアクセサリー禁止

実務経験
ピアノ：保育者養成校では他校にて2年、本学院に於て14年ピアノの指導にあたる。また、リトミック研究センター教員養成校において、ピアノ指導法を8年担当する
声楽：ドイツ、オーストリアにおいて研鑽を積み、オペラ、舞台歴多数　保育者養成校においては、他校にて5年、本学では8年間声楽を担当する
アンサンブル：14年間幼稚園・保育園にて子どもや保育者に向けての音楽指導を行っている

科目名		担当者	
音楽Ⅱ		山岡　紀美子他	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・必修	1

テーマ
〇音楽の基礎知識の習得をとおし、楽譜を正確に演奏することができる。
〇保育実践で扱うピアノ曲や子どもの歌を表現力豊かに演奏できる。
〇正確な発声、発音、音程、リズムとともに表現力豊かに歌唱できる。

講義内容
1. オリエンテーション
2. 楽器遊び指導法（鍵盤ハーモニカ実践）ピアノ実技
3. 楽器遊び指導法（鍵盤ハーモニカ指導法）ピアノ実技
4. 楽器遊び指導法（鍵盤ハーモニカ編曲法）、ピアノ実技
5. 楽器遊び指導法（体鳴楽器）ピアノ実技
6. 楽器遊び指導法（膜鳴楽器、気鳴楽器）ピアノ実技
7. 楽器遊び指導法（年齢別合奏編曲法）、ピアノ実技
8. 伴奏法（コードによる）わらべ歌、ピアノ実技
9. 伴奏法（ルートによる）子どもの歌（イベント曲）、ピアノ実技
10. トーンチャイム（基礎）子どもの歌（イベント曲）、ピアノ実技
11. トーンチャイム（応用）季節の歌（秋）、ピアノ実技
12. 伴奏法（メジャーコード）季節の歌（秋）ピアノ実技
13. 簡易伴奏法（コードによる）季節の歌（冬）、ピアノ実技
14. 声楽試験、筆記試験、ピアノ実技
15. ピアノ試験

評価
ピアノ：60％　声楽：20％　理論：20％

テキスト
歌唱教材伴奏法（教育芸術社）
ポケットいっぱいのうた（教育芸術社）
子どものための音楽表現技術（萌文書林）

その他　●携帯電話持ち込み不可●授業中は指示されら時以外ﾚｯｽﾝ室から退出しないこと●爪を短く切ること（ネイル厳禁）、指輪、ブレスレットなどのアクセサリー禁止

実務経験
ピアノ：保育者養成校では他校にて2年、本学院に於て14年ピアノの指導にあたる。また、リトミック研究センター教員養成校において、ピアノ指導法を8年担当する
声楽：ドイツ、オーストリアにおいて研鑽を積み、オペラ、舞台歴多数　保育者養成校においては、他校にて5年、本学では8年間声楽を担当する
アンサンブル：14年間幼稚園・保育園にて子どもや保育者に向けての音楽指導を行っている

科目名		担当者	
器楽Ⅱ (2021年度入学生まで)		山岡　紀美子他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	通年	演習・必修	2

テーマ

音楽教育において重要な役割を担うピアノに関する基本的知識、基礎的技術を指導する。また、弾き歌いを通して演奏技術・表現技術のレベルアップを図る。

講義内容

第1回　本科目の説明、楽曲及び弾き歌いの取り組みについて
第2回　4月の弾き歌い曲
第3回　４、５月の弾き歌い曲
第4回　5月の弾き歌い曲
第5回　５、6月の弾き歌い曲
第6回　6月の弾き歌い曲
第7回　６、７月弾き歌い曲
第8回ブルグミュラー又は指示された楽曲の取り組み(譜読み)
第9回ブルグミュラー又は指示された楽曲の取り組み（フレージング）
第10回　中間試験曲
第11回　7月の弾き歌い曲（実技試験曲の譜読みを含む）
第12回　７、９月弾き歌い曲課題曲
第13回　9月弾き歌い曲（実技試験曲の表現方法を含む９
第14回　実技試験曲（通し練習）
第15回　中間試験
第16回　後期課題の説明及び夏季課題確認演奏会の曲(譜読み)
第17回　10月の弾き歌い曲又は実習課題曲の取り組み
第18回　10月の弾き歌い曲又は実習課題曲の取り組み及び11月の弾き歌い曲
第19回　11、12月弾き歌い及び実習課題曲の取り組み
第20回　12、1月の弾き歌い及び実習課題曲の取り組み
第21回　1、２月の弾き歌い及び実習課題曲の取り組み
第22回　２、3月ブルグミュラー又は指示された楽曲の取り組み（譜読み）
第23回　3月ブルグミュラー又は指示された楽曲の取り組み（譜読み）
第24回　弾き歌い課題の振り返り及びイベント曲及び静曲への取り組み
第25回　イベント曲及び静曲への取り組み　後期試験曲発表
第26回　進度確認及び後期試験曲譜読み

評価

平常点30％、提出物10％、中間試験及び後期試験60％

テキスト「ブルグミュラー25の練習方法」全音、「ソナチネアルバム１，２標準版」全音、「こどものうた100」チャイルド社、「弾き歌いピアノ曲集」DOREMI

その他　●携帯電話持ち込み不可●授業中は指示されら時以外ﾚｯｽﾝ室から退出しないこと●爪を短く切ること（ネイル厳禁）、指輪、ブレスレットなどのアクセサリー禁止

実務経験　保育者養成校では他校にて2年、本学院に於て14年ピアノの指導にあたる。また、リトミック研究センター教員養成校において、ピアノ指導法を8年担当する

科目名		担当者	
保育原理Ⅱ		片山　晴美	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	講義・選択	2

テーマ

子どもが、自分の内にある育つ力をいきいきと発揮して育っていくためにも、子どもを理解する大人の関わりが大切であることをモンテッソーリ教育から学びを深める。

講義内容

1．モンテッソーリ教育との出会い
　大人と子どもの違い

2．自然からの宿題～敏感期～
3．２つの重要な敏感期
4．自然からの宿題を考える
5．楽しいを感じる
6．学びとる能力
7．子どもの観察の仕方
8．日常生活訓練について①
9．日常生活訓練について②
10．感覚教具について①
11．感覚教具について②
12．数の教具を知る①
13．数の教具を知る②
14．言語の教具を知る①
15．言語の教具を知る②

評価

出席日数、授業に取り組む姿勢　レポート提出の総合で評価

テキスト

授業で配布する資料

その他

A4ファイルを用意する

実務経験

保育園・認定こども園で３４年の保育経験がある。モンテッソーリ教育に出会い、自分の保育、子どもへの関わりが変わりました。そんな経験談を交えて、モンテッソーリ教育について一緒に学んでいきましょう。

科目名		担当者	
社会的養護Ⅲ		石塚　正志	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	講義・選択	2

テーマ

「保育ソーシャルワーカーとしての心と技術の活用をめざして」保育士業務は、子どもの保育・支援に携わるだけではなく、家族への相談助言、多職種連携、福祉マンパワーの育成、地域との連携等その業務は多岐にわたっている。児童虐待が問題になっている社会の中で、いかに福祉専門職としての感性と技術を発揮
していくのか事例を通して考えていく。

講義内容

1．授業ガイダンス：
2．相談援助のためのコミュニケーションについて
3．個人情報の保護について
4．ミクロ的視点・マクロ的視点
5．リフレーミングについて
6．保護者からの電話相談について
7．事例：身体的虐待からの愛着障がい
8．事例：ネグレクト
9．事例：ＰＴＳＤを抱える子どもとの関わりより
10．事例：特性について考える
11．事例：自己肯定感を育むということ
12．多職種連携について
13．地域活動を通して子どもたちを守る
14．授業の振り返りとまとめ
15．試験

評価

授業のレポート、出席・授業態度、定期試験の総合で評

テキスト

使用せず

その他

資料を配布することが多いので、専用のファイルを用意すること。

実務経験

児童福祉、障がい者福祉等１５年福祉職に従事し、対象児童のみならず、その保護者との関わり、多職種連携など行ってきた。また地域では、障がい児を持つ親の会、青少年健全育成、ボランティア育成、京都市保育士キャリアアップ講師、児童養護施設における人権研修講師などを行ってきた。

科目名		担当者	
発達臨床心理学		室　紀子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	講義・選択	2

テーマ
保育の現場では、子どもや保護者の抱えている問題に寄り添いながら援助していく『カウンセリング』的な姿勢が求められる。
自分自身も含めて人が皆「共に心豊かに生きる」ために必要なことを考えたい。

講義内容
テキスト、VTR、検査体験を通して「皆で一緒に考えていく」スタイルが中心になります。
1　ガイダンス／保育に生かすカウンセリングとは
2　自分を知ろう…性格検査、ワークショップ
3　心の成長を支える発達
4～6　小学生までの発達とカウンセリング
　　乳児期、幼児期、児童期
7～8　青年期の発達とカウンセリング
　　中学・高校生、青年期以降
9　心理検査とアセスメント
10　発達検査をやってみよう①
11　発達検査をやってみよう②
12　発達障害を理解しよう
13　保護者支援のために
14　地域社会に生かすカウンセリング
15　試験

評価
授業に対する意欲20％、随時提出のミニ・レポート30％、期末試験50％の合計で総合評価します。

テキスト
金子智栄子　編著
「教育相談とカウンセリング」樹村房

その他
資料も配布することもあるので、専用のファイルを用意して下さい。

実務経験
児童相談所、保健センター、保育園巡回相談での発達検査の実施・保護者や現場スタッフへのアドバイスを行なって来ている。また、高等教育機関におけるスクールカウンセラーにも従事している。これらの経験を活かして、学生が現場で活かせる知識と考える力を総合的に伝えたい。

科目名		担当者	
保育内容「健康」Ⅱ		庄　政治	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・選択	1

テーマ
乳幼児期の健康状態・発育・発達状態の把握。
生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期の乳幼児の発達をおさえながら、対大人、保育者、人との関わりの大切さと合わせて、保育内容「健康」について広義に理解するとともに、保育現場での具体例を用いながら援助、方法について学ぶ。

講義内容
1．授業オリエンテーション
2．保育内容領域「健康」について
　子どもの「こころ」と「からだ」について
3．グループワーク「春を探そう」
4．遊びの発達と健康
5．安全管理と計画ある保育
6．子どもの食と健康
7．園生活と生活習慣
8．七夕の由来、七夕製作
9．七夕笹飾り、みんなであそぼう
10．パペット製作
11．パペット製作
12．パペット製作
13．パペットを使って発表
14．仲間探しゲーム、色々な歌を歌ってあそぼう
15．試験

評価
提出物（30％）、製作演出発表（20％）
定期試験（50％）などを総合的に評価する。

テキスト
使用しない

その他
パペット製作に必要な裁縫道具

実務経験
保育士として23年の実務経験を活かして、保育内容五領域「健康」についての理解を深められるよう、各年齢の発達をおさえながら、子どもたちの生活の基盤になる心身の健康についての授業。
また、子育て支援の視点も考慮し、多くの具体的な実践例を通して学べる授業を行う。

科目名		担当者	
保育内容「言葉」Ⅱ		髙橋　小百合	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・必修	1

テーマ

乳幼児のことばの発達を育む児童文化財の創作
幼児のことばを育む児童文化とは何かを理解し、児童文化の精神（こころ）と技術の修得のためにさまざまな文化財を提示する。創作においては、個人及び小グループを作り、できる限り多くの文化財を創作し、模擬保育をすることで、その技術を錬磨する。

講義内容

1. 幼児のことばを育む児童文化とは何か
2. 児童文化と子どもの発達
3. 児童文化財の制作　～簡単人形・かくれん棒～
4. 児童文化財の発表　～簡単人形・かくれん棒～
5. 児童文化財の制作　～立絵～
6. 児童文化財の発表　～立絵～
7. 児童文化財の制作　～折り紙～
8. 児童文化財の制作　～パネルシアター～
9. 児童文化財の発表　～パネルシアター～
10. 児童文化財の発表　～パネルシアター～その②
11. 児童文化の探索　～語り～
12. 児童文化の発表　～語り～
13. 子どものうたを考える　～手話を学ぶ～
14. 子どものうたを考える　～手話ソング～
15. 児童文化の現状と課題　＆　定期試験

評価

作品の制作と発表（70％）
期末筆記試験（30％）

テキスト

髙橋司　他著『児童文化と保育』宮帯出版社

その他

次回授業で使用する教材を伝えますので、それらを持参してください（制作に必要な裁縫道具など）。
真摯な受講態度で臨んでください。

実務経験

保育士として10年勤務する。
小学校教諭・教頭として約20年勤務する中で、特に、特別支援教育コーディネーターとして幼稚園や保育所、こども園や施設等の就学相談に従事する。

科目名		担当者	
学齢児保育		福地　かおり	
配当	開講	種別	単位数
1回生	前期	演習・選択	1

テーマ

○ 児童館の機能と役割について理解する。
○ 児童館での見学授業や授業での実践を通して、児童館で行われている活動、遊び等を学ぶ。

講義内容

1. オリエンテーション
2. 児童館についてⅠ
3. 児童館についてⅡ
4. 手遊びの発表 ①
5. 手遊びの発表 ②
   京都市児童館・学童クラブについてⅠ
6. 京都市児童館・学童クラブについてⅡ
7. 京都市児童館・学童クラブについてⅢ
8. 児童館見学　事前学習
9. 児童館見学
10. 児童館見学
11. 児童館見学
12. 振り返り　グループディスカッション
13. 振り返り　グループディスカッション
14. まとめ
15. 試験

評価

平常点：30％、提出物：20％、定期試験：50％

テキスト

必要な資料は配布します。

その他

・ 服装や持ち物の指定があった場合は、授業の前日までに用意して下さい。

実務経験

なし

科目名		担当者	
音楽Ⅲ(2022年度生)		山岡　紀美子他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・選択	1

テーマ
〇音楽Ⅰ、Ⅱで修得したピアノの技術と音楽理論の知識を踏まえ、保育現場を想定した実践的な演奏や指導法を学ぶ。
〇音楽Ⅱでの習得グレードに合わせ、楽曲、練習曲弾き歌い曲のレパートリーを広げていく。

講義内容
1. オリエンテーション
2. カスタネット遊び　ピアノ実技
3. カスタネットアンサンブルピアノ実技
4. カスタネットアンサンブル指導法ピアノ実技
5. 声によるアンサンブル・ボイスパーカッションピアノ実技
6. 声によるアンサンブル合唱①ピアノ実技
7. 声によるアンサンブル合唱②　ピアノ実技
8. 声によるアンサンブル合唱③ピアノ実技
9. 絵本を歌う ピアノ実技
10. 絵本を歌う制作①　伴奏法、ピアノ実技
11. 絵本を歌う制作②　伴奏法　ピアノ実技
12. 絵本を歌う制作③　伴奏法　ピアノ実技
13. 絵本を歌う制作④　トーンチャイム　ピアノ実技
14. 絵本を歌う制作発表、ピアノ実技
15. ピアノ試験

評価
ピアノ：60%　発表：20%　平常点：20%

テキスト　歌唱教材伴奏法（教育芸術社）
ポケットいっぱいのうた（教育芸術社）
子どものための音楽表現技術（萌文書林）
保育のためのやさしい子どもの歌（ミネルヴァ書房）

その他　●携帯電話持ち込み不可●授業中は指示されら時以外ﾚｯｽﾝ室から退出しないこと●爪を短く切ること（ネイル厳禁）、指輪、ブレスレットなどのアクセサリー禁止

実務経験
ピアノ：保育者養成校では他校にて2年、本学院に於て14年ピアノの指導にあたる。また、リトミック研究センター教員養成校において、ピアノ指導法を8年担当する
声楽：ドイツ、オーストリアにおいて研鑽を積み、オペラ、舞台歴多数　保育者養成校においては、他校にて5年、本学では8年間声楽を担当する
アンサンブル：14年間幼稚園・保育園にて子どもや保育者に向けての音楽指導を行っている

科目名		担当者	
音楽Ⅳ(2022年度生)		山岡　紀美子他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	演習・選択	1

テーマ
〇これまでに修得したピアノの技術と音楽理論の知識を踏まえ、保育現場を想定した実践的な演奏や指導法を学ぶ。
〇これまでの習得グレードに合わせ、楽曲、練習曲弾き歌い曲のレパートリーを広げていく。

講義内容
1. オリエンテーション
2. コードと伴奏法①ピアノ実技
3. コードと伴奏法② ピアノ実技
4. コードと伴奏法③ ピアノ実技
5. コードと伴奏法④ ピアノ実技
6. 伴奏法（メジャー・マイナーコード）ピアノ実技
7. 伴奏法（ディミニッシュコード）ピアノ実技
8. 伴奏法（オーギュメントコード）ピアノ実技
9. 移調（コードによる）ピアノ実技
10. 移調（コードによる）ピアノ実技
11. 絵本と効果音（サウンドスケープ）①ピアノ実技
12. 絵本と効果音（サウンドスケープ）②ピアノ実技
13. 絵本と効果音（サウンドスケープ）③ピアノ実技
14. 絵本と効果音制作発表、ピアノ実技
15. ピアノ試験

評価
ピアノ：60%　発表：20%　平常点：20%

テキスト　歌唱教材伴奏法（教育芸術社）
ポケットいっぱいのうた（教育芸術社）
子どものための音楽表現技術（萌文書林）
保育のためのやさしい子どもの歌（ミネルヴァ書房）

その他　●携帯電話持ち込み不可●授業中は指示されら時以外ﾚｯｽﾝ室から退出しないこと●爪を短く切ること（ネイル厳禁）、指輪、ブレスレットなどのアクセサリー禁止

実務経験
ピアノ：保育者養成校では他校にて2年、本学院に於て14年ピアノの指導にあたる。また、リトミック研究センター教員養成校において、ピアノ指導法を8年担当する
声楽：ドイツ、オーストリアにおいて研鑽を積み、オペラ、舞台歴多数　保育者養成校においては、他校にて5年、本学では8年間声楽を担当する
アンサンブル：14年間幼稚園・保育園にて子どもや保育者に向けての音楽指導を行っている

科目名		担当者	
リトミック（ベーシック）		山岡　紀美子	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	演習・選択	1

テーマ
〇リトミックを通して音楽を身体で表現できる。
〇３歳児クラスの指導法について理解し、実践できる。
〇３歳児クラスのリトミック指導のためのピアノ演奏できる。

講義内容
１．オリエンテーション　リトミックとダルクローズの理論について
２．拍、強弱、テンポ、空間、アクセント音価の比較
３．基礎的な動き、基礎リズム（2拍子）拍子アクセント
４．リズムの演奏法（1学期）
５．3歳児指導法（1学期）
６．リズムの演奏法（２学期）
７．3歳児指導法（2学期）
８．基礎リズム（2拍子）言葉のリズムとリズムフレーズ
９．3歳児指導法
１０．リズムの演奏法③（3学期）【認定試験公示案内】
１１．基礎リズム（3拍子）
１２．見学実習
１３．見学実習
１４．試験対策（リズム・ピアノ）
１５．試験（２級　資格認定試験）とまとめ

評価
平常点：20%、レポート課題：20%：実技試験：６０％

テキスト
幼稚園・保育園のためのリトミック3歳児用 年間カリキュラムとその実践（リトミック研究センター出版）

その他
この授業の試験に70点以上で合格すると、リトミック研究センターより「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格２級」を認定される。

実務経験
リトミック研究センターにて、15年間研究室研究員及び奈良第一支局チーフ代理、リトミック研究センター教員養成校専任講師、ディプロマAコース大阪校、広島校専任講師全国で研修会、審査員を行っている

科目名		担当者	
リトミック（アドバンス）		山岡　紀美子	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・選択	1

テーマ
〇リトミックを通して音楽を身体で表現できる。
〇4,5歳児クラスの指導法について理解し、実践できる。
〇4,5歳児クラスのリトミック指導のためのピアノ演奏できる。

講義内容
１．オリエンテーション　　リトミックとダルクローズの理論について
２．複リズム
３．基礎的な動き、複リズム（2拍子）
４．リズムの演奏法（4歳1学期）
５．４歳児指導法（1、２学期）リズムフレーズ
６．リズムの演奏法（4歳２学期）カノン
７．４歳児指導法（２、３学期）リズムカノン（3拍子）
８．４歳児指導法（３学期）ピアノ即興演奏法（ペンタトニック）補足リズム（基礎リズム）
９．５歳児指導法　ピアノ即興演奏法（オノマトペと即興演奏）補足リズム（子どもの歌）
１０．5歳指導法（1、２学期）【認定試験公示案内】
１１．5歳指導法（２、３学期）
１２．見学実習
１３．見学実習
１４．試験対策（リズム・ピアノ）
１５．試験（１級　資格認定試験）とまとめ

評価
平常点：20%、レポート課題：20%：実技試験：60%

テキスト
幼稚園・保育園のためのリトミック４歳児用 年間カリキュラムとその実践（リトミック研究センター出版）
幼稚園・保育園のためのリトミック５歳児用 年間カリキュラムとその実践（リトミック研究センター出版）

その他
この授業を選択するには、「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格２級」を認定されていること。
認定試験に70点以上で合格すると、リトミック研究センターより「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格１級」を認定される。

実務経験
リトミック研究センター研究室研究員及び奈良第一支局チーフ代理、リトミック研究センター教員養成校専任講師、ディプロマAコース大阪校、広島校専任講師
全国で研修会、審査員を行っている

科目名		担当者	
ミュージック・ケア		伊藤　美恵	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	演習・選択	1

テーマ

〇障がいのあるこども（者）も一緒に楽しめる音楽活動を提供できる支援者になる。
〇「だれでも、いつでも、どこでも」楽しめる音楽療法の手法「ミュージック・ケア」の理論と技術を習得し、望ましい対人援助手法を身につける。

講義内容

〇対人援助の基本的姿勢を学ぶ。
〇ミュージック・ケアのメソッドの基本の30曲を習得する。
〇参加者の活動を引き出す合図の掛け方を習得する。
〇参加者との共感するための表現について学ぶ。
〇グループワークについて学ぶ。
〇動きや活動の意味を理解し、適切なアセスメントと評価を知る。
〇プログラムの立て方と進行の仕方を学ぶ。

評価

〇30曲の活動の習熟度→実技の確認をする。
〇授業に取り組む姿勢や、習得のための努力、積極性などについて
　→授業の中での姿勢・態度の変化を評価する。
〇対人援助について理解
　→感想やレポートなどで評価する。

テキスト

宮本啓子著
「ミュージック・ケア　その基本と実際」

その他

実務経験

〇36年にわたって、児童・高齢者・障害者などさまざまな対象者に音楽療法（ミュージック・ケア）の実践を行う。
〇児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所で療育を行ってきた。
〇保育所の特別支援保育の巡廻相談支援や保育所・幼稚園での障害児保育アドバイスを行う。

科目名		担当者	
保育所実習		庄　政治 他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	後期	実習・必修	2

テーマ

本学院における保育所実習は、実践を通じた学びとしては最後の実習になっており、総仕上げの実習でもある。実習の時期としても就職・卒業を間近に控えている事もあり、主として次のようなねらいを設けている。

・保育者としてふさわしい姿や行動が、自己のものとして自然にとれること。

・それまでに習得した知識や技術を実践的に応用すること。

・保育所の役割･機能を理解し、そこに従事する保育士として指導案の立案･実践や教材の準備ができること。

・保育士の任務と使命を現実的に自覚すること。

広い意味で自己の保育観や保育者観を自覚すること

実習内容

〇事前オリエンテーション

見学実習

〇保育所における２週間の実習

観察＆参加実習

〇指導実習（半日または1日のクラス運営等）

また、事前・事後の実習指導により、実践を伴う学びについて整理し、理論と自己課題を深く追求していく。

評価

実習先施設の評価（40%）

実習記録の評価（30%）

事前・事後の指導を含めた実習担当における評価（30%）

以上を総合して評価する

テキスト

使用しない

その他

子どもを主体とした関わりが、イメージできる必要があるので、事前（自主的）に保育現場におけるボランティアや、アルバイト経験を積んでおくことが望まれる。

実務経験

保育所、児童養護施設、障害者施設など様々な現場経験がある教員による複数担当制で適切な事前・事後学習、実習巡回訪問などを行っている。

科目名		担当者	
生活施設実習		石塚　正志 他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	前期	実習・必修	2

テーマ

現場実習において、生活施設の保育士の役割と仕事、対象者に必要な支援についての知識と技術を学ぶ。

生活施設実習においては主として次のようなねらいが設けられている。

生活施設について理解する

対象者理解と支援の方法について学ぶ

生活支援と関わる具体的技術を修得する

プライバシーと職業倫理について学ぶ

宿泊実習を通して自己の健康管理を行う

実習内容

１．保育所以外の福祉施設において２週間の実習を原則として宿泊で行なう

実習施設

乳児院

児童養護施設

児童心理治療施設

母子生活支援施設

障がい児・者施設

２．事前－事後の実習指導により、実践での学びを整理し、自己の今後の課題を考えていく

評価

実習先施設の評価（40%）

実習記録の評価（30%）

事前－事後の指導を含めた実習担当における評価（30%）

以上を総合して評価する

テキスト

使用しない

その他

実務経験

保育所、児童養護施設、障害者施設など様々な現場経験がある教員による複数担当制で適切な事前・事後学習、実習巡回訪問などを行っている。

科目名		担当者	
通所施設実習		花岡　貴史 他	
配当	開講	種別	単位数
1回生	後期	実習・必修	2

テーマ

通所施設実習は、入学後初めて経験する実践を通じた学びの場であり、いわば入門期の実習である。
多くの学生は“保育士=保育所の保育士”というイメージを抱いて入学しているかもしれない。しかし、保育士の働く現場は保育所以外にもあり、この実習はそういった施設を知る機会にもなっている。
通所施設実習においては主として次のようなねらいが設けられている。
対人援助専門職として、ふさわしい姿や行動がとれること
対人援助職のフィールドや対象者の幅広さを知ることにより、自己の保育観や保育者観を見直す
保育に関する知識や技術について、実践の場を通じて自己の課題を発見する

講義内容

１．通所施設において２週間の実習を行なう
実習施設
児童館
障害者福祉サービス事業所（通所型）
児童発達支援センター（母子通園を含む）

２．事前・事後の実習指導により、実践での学びを整理し、自己の今後の課題を考えていく

評価

実習先施設の評価（40%）
実習記録の評価（30%）
事前－事後の指導を含めた実習担当における評価（30%）
以上を総合して評価する

テキスト

使用しない

その他

実務経験

保育所、児童養護施設、障害者施設など様々な現場経験がある教員による複数担当制で適切な事前・事後学習、実習巡回訪問などを行っている。

科目名		担当者	
実習指導Ⅱ＋Ⅲ		石塚正志・庄政治 他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	通年	演習・必修	2

テーマ

「事前－事後学習」の位置づけ。
保育実習（生活施設実習・保育所実習）を円滑に進め、現場から得た力を自身の糧として活かしていく方法等について学ぶ。

講義内容

「事前」
・保育実習の目的と意義
・実習段階の内容理解
・実習施設（生活施設実習・保育所実習）の特徴・概要の理解
・実習テーマについて（実習課題の持ち方）
・実習要項、実習心得について
・人権尊重・個人情報の保護について
・事前オリエンテーションの内容把握
（学内･実習施設）
・実習中の健康管理について
・その他
「事後」
・実習終了後のアンケート･レポート作成
・実習報告会とまとめ
・自己評価と自己反省
・実習で学んだことの理解と評価
・実習で学んだことの学生生活への生かし方
・実習と就職への展望、学んだことを応用していくセンス

評価

全出席であること
提出物は期日までに提出のこと
授業態度についても評価する

テキスト

使用しない

その他

評価基準に満たないものは、保育実習への参加を取りやめることがある。

実務経験

保育所、児童養護施設、障がい者施設など様々な現場経験がある教員による複数担当制で適切な事前・事後学習、各実習施設に合った実習指導を行っている。

科目名		担当者	
実習指導Ⅰ		花岡　貴史 他	
配当	開講	種別	単位数
1回生	変則通年	演習・必修	1

テーマ

当学院における保育実習のうち、通所施設実習に対応する実習指導（実習の事前及び事後指導）。学院での最初の実習へ向けての総合的な準備（実習の意義・目的、オリエンテーション、実習記録の書き方）及び、配属施設ごとの類型別（児童館・障がい児・障がい者）の指導を行う。

講義内容

1．実習指導ガイダンス/希望調査アンケート
2．保育士の仕事（ビデオ学習）
3．ロールプレイを通しての自己覚知
4．観察と記録の演習
5．実習記録記入の練習①
6．実習記録記入の練習②
7．実習記録記入の練習③
8．各類型別の指導①
9．各類型別の指導②
10. 2回生保育所実習報告会参加
11. 各類型別の指導③
12. 各類型別の指導④
13. 各類型別の指導⑤
14. 各類型別の指導⑥　実習テーマの指導等
15. 各類型別の指導⑦　実習テーマの指導等

実習テーマ、自己紹介書（写真貼付）提出
実習中の健康管理/保菌検査/アンケートⅠ

16. 送り出し
17. 事後指導①　反省会レジュメ作成、お礼状執筆、アンケートⅡ
18. 事後指導②　実習反省会

評価

全出席であること
提出物は期日までに提出のこと
授業態度

テキスト

なし

その他

評価基準に満たないものは、保育実習への参加を取りやめることがある。

実務経験

保育所、児童養護施設、障害者施設など様々な現場経験がある教員による複数担当制で適切な事前・事後学習、各実習施設に合った実習指導を行っている。

科目名		担当者	
保育実践演習		花岡　貴史 他	
配当	開講	種別	単位数
2回生	通年	演習・必修	2

テーマ

１．教育課程の全体を通して、保育士としての専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。
２．保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることを多様な視点から考察する力を習得する。３．１及び２を踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要な基礎的な資質・能力の定着を目指す。

講義内容

専任教員ごとの専門性に応じたゼミ形式で以下の内容について深めていく。詳細な計画については各ゼミ担当者の初講にて説明される。
１．学びの振り返り グループ討論、ロールプレイング等の授業方法を活用し、以下 の①～④の観点を中心に、これまでの自らの学びを、保育実習等 における体験と結びつけながら振り返る。①保育士の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、倫理 ②社会性、対人関係能力 ③子どもやその家庭の理解、職員間の連携、関係機関との連携 ④保育や子育て家庭に対する支援の展開
２．保育に関する現代的課題の分析に基づく探究グループワークや研究発表、討論等により、保育に関わる今日の社会的状況等の課題について自ら問いを立て、その要因や背景、 課題解決の方向性及びその具体的内容や方法等について検討する。
３．１及び２を踏まえて、自身の習得した知識・技術等と保育に関 する現代的課題等から、自己の課題を把握する。その上で、目指す保育士像や今後に向けて取り組むべきこと及びその具体的な手段や方法等を明確化する。
４．就職等の指導もゼミごとに行われる。
①就職活動の方法
活動の進め方、求人の見方、探し方、学内外の手続き、礼儀作法、模擬面接、試験・面接・作文等対策等。取り組むべきこと及びその具体的な手段や方法等を明確化する。
②進路の相談
③就職フェアの情報

評価　ゼミごとに出席・取り組む姿勢、課題などで評価する。

テキスト　なし

その他　担任に一任

実務経験

保育・教育・社会福祉・音楽等、様々な分野での経験がある教員が、それぞれの専門性を活かして指導を行う。